

平成29年度議会による行政評価 施策評価の予算措置等の状況

資料1

※H30.3.22修正

市総合評価 A: 計画以上に進捗しており、このまま継続して施策を推進する。
 市総合評価 B: ほぼ計画通り進捗しており、継続して施策を推進する。
 市総合評価 C: 目標をやや下回る要因の分析と施策の見直しを要する。
 市総合評価 D: 目標を大きく下回る要因の分析と施策の見直しを要する。

< 施策評価 >

(千円)

施策評価名	担当課	施策内容	市 評価	議会 評価	議会評価総括コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
義務教育の充実	教育総務課・ 学校教育課	人と人とのふれあいを大切に し、学習意欲を高め、特色ある 魅力的な学校づくりに努める。 いじめや不登校に対しては、 関係機関と連携を密にすると ともに、福祉的な視点を加味し て、迅速丁寧な対応に努める。 学校給食については、衛生管 理の徹底を図り、安心・安全な 学校給食の提供はもとより、美 味しく・残さず喫食することが できる学校給食を目指す。 教育の多様化と質的な向上を 図るための施設整備や、学校 施設の長寿命化計画を策定 し、施設の老朽化への対応を 図るなど、教育環境の改善に 努める。 現況と課題として、学校にお ける教育活動の中心は学習指 導にあり、学習指導要領に示 された共通に指導すべき内容 、すなわち基礎力及び基本的 な学習内容についての確実な 定着を図るとともに、地域や 児童及び生徒の実態を踏まえ た特色ある教育に取り組む必 要がある。 児童及び生徒の生命を守り、 安全な生活を送るための知識や	B	拡 充	議員全員の評価と意見を取りまとめ、調査 と議論の結果、下記のとおり評価を決定 し、平成30年度以降の事業と予算につい て4点の対応を期待する。 1 教員の負担軽減と資質向上を図り、児 童生徒の学力と生きる力を向上させるため に、市単費による教員の加配やまなびんぐ サポート、クラブサポートの充実、研修や学 校支援・学力支援コーディネーターの充 実、学力向上プロジェクトチームや学力向 上アドバイザーの充実などを行うこと。 2 学校教育施設管理について、校舎の耐 震化を評価する。引き続きエレベーターや 給水設備などの整備、ピアノなどの非構造 部材の耐震化、備品や消耗品の充実、敷 地内の植栽管理など、充実した教育環境 の整備に努められたい。 3 さわやかルームやシャインの充実の継 続や移転の対策、スクールソーシャルワ ーカーやスクールカウンセラーの充実など、 いじめや不登校のさらなる対策に取り組 むこと。 4 学校給食における地産地消の取組みを 評価する。引き続き地産地消の取組みを充 実させることと、残菜率の抑制を図り、食 育の充実に取り組むこと。	この施策を構成する25事業 のH30当初予算額とH29当初 予算額を比べると、36,552千 円(3.8%)の増加となってい る。 これは、施策を構成する25事 業のうち、17事業で計49,291 千円の増、7事業で計12,739 千円の減、1事業で増減なし となったためである。 ※増減理由は各事務事業に 記載。	992,716	956,164	36,552	894,516

		<p>能力をつけることが必要である。</p> <p>学校施設の耐震化率は100%を達成したが、児童・生徒の活動の場である室内環境は、施設竣工時のままの施設も多く存在しており、内部改修を年次的に進め、教育施設の環境改善を図る必要がある。</p> <p>いじめ及び不登校は、どの学校でも起こり得ることであり、各学校で様々な取り組みを進めているが、学校だけでは十分効果をあげることができない事例もあり、家庭、地域及び関係諸機関との連携を密にしながら、迅速かついねいに対応していくことが重要である。</p> <p>小中学校給食は学校給食衛生管理基準を遵守して衛生管理の徹底に努めているが、小学校給食センターは施設の老朽化に伴い、衛生的な環境を維持するための施設整備が必要である。</p> <p>学校給食センターでは「食育」を推進する場のひとつとして、料理教室、試食会、収穫体験教室等を精力的に開催しているが、より多くの市民に参加してもらえるように、企画内容を充実させる必要がある。</p> <p>小中学校給食では食物アレルギー対策として、献立表への食品成分の表示、加工食品の明細等の情報提供、乳・卵の食物アレルギーを持つ児童生徒に対する代替品や補食の提供を行っているが、今後も家庭、学校との連携を図り、より安全な対応を行っていく。</p>								
--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--

<本施策を構成する事務事業評価>

市評価段階 A: 拡大、B: 現状維持、C: 縮小、D: 休止、E: 段階的に廃止、F: 即廃止(完了)

(千円)

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
1	中学校管理 運営事業	教育総務課	市立中学校(第三中学校、日根野中学校、長南中学校、佐野中学校、新池中学校)の教材、備品、消耗品等の購入により、教育環境の整備に努め、中学校における教育環境の充実を図っている。	B	—	<p>○単純計算で1校当たり700万円強が予算配分され、教材・備品・消耗品等の購入を行っているが、現状で十分かどうか、常に見直しされたい。緊急の場合、父母やPTAが負担する例が過去にあったと聞いている。</p> <p>○備品・消耗品等の購入については一括発注によるコスト軽減を図っていただきたい。</p> <p>○学校教育法及び小学校設置基準(第十一条)で、学校設置者には学校を管理し、学校の経費を負担、指導上、保健衛生上、安全上、必要となる校具・教具を備え、常に改善し、補充しなければならないと規定されている事から、本事業は継続して実施すべきである。</p> <p>○中学校の備品の老朽化等、整備に努めて頂きたい。</p> <p>○決められた予算の中でやりくりしている中で、使える所が狭められているように思います。新しい教材や、新たな取り組みが出来にくい環境だと感じました。出来れば、少し自由な使い方が出来て、新たな取り組みが出来る環境になることを望みます。</p> <p>○中学校においてクラブ活動、また、美術、技術、家庭科、音楽等は進学塾等で学べないことであり、人としての感性やコミュニケーションの構築等に対して、重要な意味を持っていると考えます。最新の設備は必要ないまでも、時代に即した備品の購入や消耗品においては十分に確保できるよう、引き続きの対応をお願いします。</p> <p>○教育環境の整備は大切で、環境が生徒のやる気を目覚めさすので、環境の整備に努めて頂きたい。</p> <p>○現状維持。</p>	H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、2,564千円(9.0%)の増となっている。これは、校務員の単価改定等に伴い委託料が160千円増加したこと、小学校の机イスの更新で2,111千円、支援学級が3クラス増えたことで240千円備品費が増加したためである。	30,918	28,354	2,564	32,587

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
2	中学校健康管理事業	学校教育課	<p>①市内の中学校に在籍する生徒への各種定期健康診断の実施</p> <p>②市内の中学校に勤務する教職員への各種定期健康診断の実施</p> <p>③生徒災害共済の契約及び支払</p> <p>中学校生徒・教職員の健康保持増進と適切な学校環境衛生の整備を図っている。</p>	B	—	<p>○生徒の定期健康診断は、健全な育成をはかるうえで不可欠。教員の健康管理・メンタル面でのケアなど、さらに踏み込んだ対策を実施されたい。</p> <p>○現在実施している内容でよいと思う。</p> <p>○健康診断の継続の他、職員の安全衛生に対する意識向上のため、定期的な啓発に努め、メンタルヘルス、生活習慣病等に関する職員の知識と意識を高め、予防に努めて頂きたい。ストレスチェック制度を導入し、ストレス要因の軽減及び職場環境の改善を図られたい。</p> <p>○教職員及び生徒の健康管理により一層充実を図って頂きたい。</p> <p>○健康診断は持続して行かなくてはならないと思いますので、しっかり持続していただきたいとおもいます。子ども達が、健康管理をしっかり意識できるようにしていただきたいと思います。また、問題が発見された場合は、精密検査の促進もお願いします。</p> <p>○現代社会において2人に1人の人が癌にかかる時代です。そのことを考えると癌教育の推進が大切です。予防と検診の重要性の観点からも癌教育の推進をお願いします。</p> <p>○学校保健安全法に遵守して健康には気を付けて、現状維持でお願いしたい事業である。</p> <p>○法令に基づく事業であり特に評価する点はないが、適正な健診項目でもって健康診断の実施を継続されたい。</p> <p>○現状維持。</p>	<p>H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、1,014千円(9.0%)の減となっている。これは、主に心臓検診委託など各検診委託の単価減で699千円の減、日本スポーツ振興センター火災共済負担金の219千円の減によるものである。</p>	10,286	11,300	△ 1,014	9,959

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
3	中学校教材 整備事業	学校教育課	<p>①中学校での教材作成に必要な物品の支出(教科書の補助副読本)</p> <p>②IT情報化教育推進のために設置したパソコン教室の41台×5校の維持管理</p> <p>中学校体育実技における理論の指導。情報化教育の充実を図っている。</p>	B	—	<p>○社会情勢からも情報化教育の充実が必要。パソコンの更新、優れた教材の選択などすすめるとともに、ネット上での危険の周知なども指導されたい。</p> <p>○従来の授業に加え、ワード・エクセル・パワーポイントなど、実社会で役立つものも指導していただきたい。</p> <p>○教育研究会や教員研修講座を活用し、教育施設のより有効な活用と教材整備を望む。特に情報通信機器の整備に伴って、より教育的な活用について教職員研修につとめて頂きたい。</p> <p>○ネット社会になった現在は、いろんな分野で情報が氾濫していますので、正しい情報を判断出来ることが望まれますので、パソコン等からの情報収集を判断出来るように、各教科でも教えて行けるようにしていただきたいと思えます。そのための予算もしっかり賭けるべきだと感じます。また、体育に関しても挑戦出来るようにお願いします。</p> <p>○将来の事を考えると、IT教育は特に予算を拡充するべきである。教育への投資は、必ず大きな経済効果、強いては泉佐野市の発展に繋がると確信する。</p> <p>○めまぐるしく変化する現代の情報社会において、必要な知識やツールの活用だけでなく、それらを使って人とつながる、正しいコミュニケーションの取り方等も養っていただきたい。</p> <p>○ITは産業革命以上の転換を人類に与えるかもしれない。IT教育の充実は未来に生きる子供達にとって必要不可欠なものであるため、さらなる充実と研究が必要と考える。合わせて情報リテラシーにも十分に取り組む必要がある。</p> <p>○こちらの事業も現状維持で継続をお願いしたい。</p> <p>○パソコンはリース契約で終了時に無償で提供とお聞きしたが、この分野の進歩は速いので、時代遅れの機器等は新しいものをリースする方が良いのではないかと思う。</p> <p>○現状維持。</p>	H30当初予算額とH29当初予算額との増減なし。	12,963	12,963	0	12,978

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
4	学校教育研究事業	学校教育課	学校へ図書館司書を派遣し、図書室の維持管理充実化を図っている。 生徒の国際感覚を養うため英語指導助手を派遣している。	B	—	<p>○社会が変化し複雑化するもと、さまざまな教員研修などが必要。また、教員が多忙ななか、学校支援・学力支援コーディネーターのさらなる充実を望む。</p> <p>○「教職員の資質向上」に真に資する内容を吟味し、慣例で行っている特定の地域限定のフィールドワークなど、本来の目的に合致することが認められないものは中止すべきである。研修会に余裕を持って参加できるよう、教職員の勤務体制を保障することが前提である。</p> <p>○定期的な研究・研修会の実施による、教職員の資質向上を図っていただきたい。</p> <p>○増加している教育課題・要望に適切かつ迅速に対応するため、教職員の不断の資質向上は必要であり、そのための研究・研修は重要である。</p> <p>○学校、学力支援コーディネーターは現在2名との事ですが、増員してより一層の充実を図ってはどうか。</p> <p>○教育に関しては、いろいろな課題があると共に先生の世代交代が急激に進んでいると感じますので、いろいろなサポートが大切だと思いますので、充実できるようにお願いします。コーディネーターの充実が出来るとうれしいと思います。</p> <p>○教職員の資質と、意欲の低下を防ぐため、研修の実施のみならず、意欲を向上し取り組める現場環境の改善にも取り組んでいただきたい。</p> <p>○子供の教育に家庭教育が最も重要であることを忘れてはならないが、義務教育においては教員の資質が最も大きな影響を与えと言える。教員の資質向上に向け、予算の拡充及び機会の拡充に取り組むことと、その機会が各教員が作れるようゆとりある環境作りに取り組む必要がある。</p> <p>○教職員の資質向上が生徒にとっても大きく関わる事なので、時間と予算をかけるべきだと思います。</p> <p>○教師の休職が大幅に増加しているのではないか。メンタル面が原因である割合も多く、過度な勤務実態も含め、国をあげて解決すべき問題であると感じる。</p>	H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、65千円(2.3%)の増となっている。これは、学力支援コーディネーターの共済費・賃金の31千円の増、印刷製本費の47千円の増によるものである。	2,869	2,804	65	2,484

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
5	学校行事事業	学校教育課	<p>①学校水泳の実施 ②小中学校合同音楽会の開催</p> <p>運動に親しみ、健康の増進及び体力の向上を図っている。音楽を通じて児童生徒の豊かな心、創造力を育てている。</p>	B	—	<p>○小中学校のプール建設がすすめられており、この活用による水泳授業の充実を図りたい。また、教育の一環であることから、安易な水泳指導の委託化は疑問である。</p> <p>○児童・生徒の体力が低下していると言われている昨今、向上に向けた授業内容への取組を図っていただきたい。また、泳げない子どもを少なくするよう、水泳授業の充実もすること。</p> <p>○行事に係る必要最小限の経費の計上がされており、これ以上効率性を求めるのは難しいと判断する。「行事」という性格を考慮すると、統合して実施できる余地は少ないが、現在実施している行事の内容を検証し、現在の社会情勢を踏まえた行事に変更する必要はないか検討する余地はある。</p> <p>○各小学校にプールが建設されると、縮小されていくとは思いますが、今議会で審議されている、スクールバス事業に移行して考えていただいた方がいいと思います。バス業界の人手不足や、バス不足で大変な部分もあると思いますが、子ども達の教育環境維持のためよろしく願いいたします。</p> <p>○行事は、人の意欲や協力意識が一点に集中する貴重な機会であるため、今ある行事の充実引き続き取り組んでいただきたい。</p> <p>○学校からの送迎バスの事業であるので、学校整備されるまでは現状維持でお願いします。</p> <p>○今後は小学校にプール建設が出来れば近隣の小学校もそのプールを使用し、徐々にこの事業は縮小となっていくのではないかと思います。</p> <p>○近年、水に触れる機会が少ない子どもにとって、水難事故や災害時に水に対する知識や対応ができにくくなっていると思う。水泳授業は、泳ぎ方などスポーツとして行うのみならず、水による災害や事故を避けられるような知識と技術の習得を主の目的として効果的にされたい。</p> <p>○小学校のプールの整備を進め、小学生の水泳力の向上を図る。</p>	<p>H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、13,406千円(171.3%)の増となっている。これは、主に大木小学校と第一小学校でスクールバスの運行を開始することで12,198千円の増となったためである。</p>	21,230	7,824	13,406	6,947

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
6	教育支援事業	学校教育課	<p>不登校児童・生徒対策のために退職教員による電話相談、臨床心理士による面接相談を行うことを目的として教育支援センターを設置し以下の活動を通じて、サポートするとともに学校と家庭との連携を図っている。</p> <p>①自主活動(教育支援センター「さわやかルーム」、「シャイン」、「相談室わかば」への通所)</p> <p>②教育相談活動</p> <p>③訪問活動、登校支援(メンタルフレンドの派遣)</p> <p>④保護者支援活動</p> <p>⑤研修活動など</p> <p>⑥ソーシャルスキルトレーナー配置</p>	B	—	<p>○不登校児・生徒対策は大変重要で、「さわやかルーム」「シャイン」などが運営されているが、相談件数などは増える傾向であり、さらなる拡充が必要。</p> <p>○不登校の原因に寄り添うとともに、学校以外の居場所を提供することは不可欠である。対象者の増加に対応できるよう、専門知識をもつ支援者や安心して過ごせて気軽に通える施設を拡充することが求められる。</p> <p>○不登校児童ゼロ化をめざしていただきたい。スクールカウンセラーの人員数は足りているのでしょうか。</p> <p>○不登校が増加する中、不登校の解消が未然防止に有効であると考えます。</p> <p>○こども議会で男子児童がいじめられている事を先生にも親にも言えないと発言していましたが、SOSを確実に届けられるよう対策が必要ではないでしょうか。市の対策として教育全般に対応するため教師の人数を増やして頂きたいと考えます。</p> <p>○不登校問題は、沢山の課題がある問題なので力を入れていただきたいと思えます。社会的にも引きこもりやニート問題にも通じる課題があると思えますので、力を入れて問題解決に繋がる事を期待しています。</p> <p>○子ども達にとって居場所であったり、心のよりどころは重要であると考えます。引き続き取り組んでいただきたい。</p> <p>○不登校の生徒が年々、増えている中、この事業に力を入れて、不登校の生徒の減少に努めて頂き、予算を拡充して頂きたいと考えます。</p> <p>○不登校問題といじめ問題は今後もしっかりと取り組むべき事業であると思う。全員が学校復帰出来れば良いが、継続して通所している現状から、さわやかルームの移転については、しっかりフォローしてもらいたい。対費用効果を考える事業では決してないと考えます。</p> <p>○退職教員の充実を図り、さわやかルームやシャインに学生が多く通うようにする。</p>	<p>H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、2,217千円(9.7%)の増となっている。これは、主に家庭の教育機能総合相談支援員の1名増員で2,088千円の増となったためである。</p>	25,118	22,901	2,217	15,735

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
7	小学校管理 運営事業	教育総務課	市立小学校(第一小学校、第二小学校、第三小学校、日新小学校、北中小学校、長坂小学校、日根野小学校、大木小学校、上之郷小学校、長南小学校、末広小学校、佐野台小学校、中央小学校)における教材、備品、消耗品等の購入により、教育環境の整備に努めている。	B	—	<p>○単純計算で1校当たり500万円強が予算配分され、教材・備品・消耗品等の購入を行っているが、現状で十分かどうか、常に見直しされたい。緊急の場合、父母やPTAが負担する例が過去にあったと聞いている。</p> <p>○備品・消耗品等の購入については一括発注によるコスト軽減を図っていただきたい。</p> <p>○1 中学校管理運営事業に同じ</p> <p>○教室内の生徒の道具置き場の老朽化が目立ち、改修してほしいという要望があります。近隣住民から、学校の木、雑草等が目立つという意見もあります。</p> <p>○決められた予算の中でやりくりしているので、使える所が狭められているように思います。新しい教材や、新たな取り組みが出来にくい環境だと感じました。出来れば、少し自由な使い方が出来て、新たな取り組みが出来る環境になることを望みます。</p> <p>○教材に触れることで、新たな学びがあり、感性等も養われると考える。引き続き充実を図っていただきたい。</p> <p>○中学校管理運営事業と同様に考えます。</p>	<p>H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、2,970千円(4.2%)の減となっている。これは、新教科の道徳の開始による2,615千円の増、校務員の単価改定や1名増による1,374千円の増、3校のAED更新による737千円の増、支援学級が3クラス増えたことによる備品費240千円の増となる一方、机イスの更新対象校が3校から2校となったことで7,944千円の減となったためである。</p>	67,877	70,847	△ 2,970	60,994

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
8	人権教育推進事業	学校教育課	<p>児童・生徒及び教職員の人権教育の充実を図るため、以下の事業を実施している。</p> <p>①教職員に対する指導・助言及び研修の実施(人権教育研修講座、障がい教育研修会、介助員研修、進路保障連絡会などの開催)</p> <p>②児童・生徒に対する人権教育の推進</p> <p>③地域における人権問題に関する学習会など</p> <p>④PTA研修などにおける保護者(市民)啓発</p>	B	—	<p>○憲法に基づく基本的人権を尊重する教育は重要であるが、とくに「同和問題」に特化したような児童・生徒への教育や教員への研修は終了すべきである。</p> <p>○児童・生徒に対する人権教育、地域への研修会、PTAへの研修などを通じて充実を図っていただきたい。</p> <p>○全ての人々の人権が尊重され相互に共存し得る平和で豊かな社会を実現するためには、一人ひとりの人権尊重精神の涵養を図る事が重要である。そのためには人権教育、啓発は不可欠であり、継続していく必要がある。</p> <p>○学校での人権教育、よく進めて頂いていると感じます。</p> <p>○しっかり教育していただきたいと思います。他者との違いを認め合い、協力し合いながら生きていける社会を実現してもらえる子ども達に成っていただきたいと思います。また、日本の玄関口として世界に誇れるように『いじめ』や『差別』『ヘイトスピーチ』などに対してしっかり考える事の出来る教育をお願いします。</p> <p>○2020年には日本でパラリンピックが開催されます。障がい者に対して理解を深める教育も重要だと感じます。</p> <p>○引き続き地域と連携し、幅広い活動を実施して頂きたい。</p> <p>○人権教育は正しい知識を持たせる事が大切なので、現状維持、もしくは拡充をして頂きたい。</p> <p>○研修の回数も大事だが、予算がかかり過ぎる点が気になる。研修の回数よりもいっそう内容の充実を図り、経費をうまく使ってほしい。</p> <p>○小学生の頃から弱者に対する思いやりの心を持つ教育をする。</p>	<p>H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、163千円(29.7%)の増となっている。これは、<u>人権教育研究推進事業</u>で162千円増加したためである。</p>	711	548	163	515

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
9	小学校健康管理事業	学校教育課	<p>①市内の小学校に在籍する児童への各種定期健康診断の実施</p> <p>②市内の小学校に勤務する教職員への各種定期健康診断の実施</p> <p>③児童災害共済の契約及び支払</p> <p>小学校児童・教職員の健康保持増進と適切な学校環境衛生の整備を図っている。</p>	B	-	<p>○生徒の定期健康診断は、健全な育成をはかるうえで不可欠。教員の健康管理・メンタル面でのケアなど、さらに踏み込んだ対策を実施されたい。</p> <p>○現在実施している内容でよいと思う。</p> <p>○2 中学校健康管理事業に同じ</p> <p>○教職員及び生徒の健康管理には、より一層充実を図って頂きたい。</p> <p>○健康診断は持続して行かなくてはいけないと思いますので、しっかり持続していただきたいとおもいます。</p> <p>子ども達が、健康管理をしっかり意識できるようにしていただきたいと思います。また、問題が発見された場合は、精密検査の促進をお願いします。</p> <p>○現代社会において2人に1人の人が癌にかかる時代です。そのことを考えると癌教育の推進が大切です。予防と検診の重要性の観点からも癌教育の推進をお願いします。</p> <p>○中学校健康管理事業と同様と考えます。</p>	<p>H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、617千円(2.8%)の減となっている。これは、主に対象者数が5,170人から5,030人と140人減による学校医謝金の63千円の減、心臓検診などの単価及び対象者数の減により検診委託料が538千円の減となったためである。</p>	21,216	21,833	△ 617	20,050

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
10	小学校教材 整備事業	学校教育課	<p>①IT情報化教育推進のために設置したパソコン教室(42台×12校、22台×1校)及び第三小学校タブレットシステム(110台)の維持管理</p> <p>②社会科副読本「わたしたちの郷土」の作成</p> <p>情報化教育の充実を図る地域の特性の理解を深めている。</p>	B	—	<p>○社会情勢からも情報化教育の充実が必要。パソコンの更新、優れた教材の選択などすすめるとともに、ネット上での危険の周知なども指導されたい。</p> <p>○第三小学校のタブレット授業の更なる充実を図っていただきたい。また、児童がパソコン等に親しめる授業内容にしていきたい。</p> <p>○3 中学校教材整備事業と同じ</p> <p>○ネット環境に、幼い頃から親しむ時代ですので、使い方等はすぐに覚えると思いますので、判断能力を高め、情報に対して考える事が出来る子ども達になるようにお願いします。また、情報発信に対しても、考える事が出来るようにお願いします。</p> <p>○ITは産業革命以上の転換を人類に与えるかもしれない。IT教育の充実は未来に生きる子供達にとって必要不可欠なものであるため、さらなる充実と研究が必要と考える。合わせて情報リテラシーにも十分に取り組む必要がある。第三小学校で取り組んでいる事例を先進事例として各校へ拡大できるように、さらなる先進化に取り組んでいただきたい。</p> <p>○中学校教材整備事業と同様に考えます。</p> <p>○特認校ではタブレットを活用する為に、Wi-Fiを設置し、教室外ではポケットWi-Fiまで用意していると聞き、充実ぶりに驚いた。他の小学校のパソコンも中学校同様、時代に即した機器を使用すべきであると考えます。</p> <p>○現状維持。</p>	<p>H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、1,064千円(3.0%)の減となっている。これは、長南小学校のパソコンリース開始で2,295千円の増となったものの、第三小学校の教育用タブレットのリース開始分と満了分トータルで1,317千円の減、隔年購入である3年社会科副読本の購入年度ではないことで1,942千円の減となったためである。</p>	34,816	35,880	△ 1,064	33,150

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
11	学校安全緊急対策事業	学校教育課	市内13小学校の正門、あるいは通用門脇の受付室に受付員を常駐させ、来訪者の確認による不審者発見時の通報、及びスクールガードリーダーによる学校の巡回指導と評価等の実施により、学校や通学路における子どもの安全確保を図っている。	A	一	<p>○児童・教員の安全・安心を守る事業として重要である。現在は市の単費での運営と思うが、受付員の充実やスクールガードリーダー(現在2名)の増員を求める。</p> <p>○不審者侵入などの不測の事態が発生した際の訓練等は実施しているのでしょうか。児童・生徒の登下校時での安全確保のため、地域の方々の協力依頼の更なる充実を図っていただきたい。</p> <p>○警備員が校門に配置される事で、保護者の不安解消にも貢献度が高く、事業継続の要望が強い。学校内の安全確保についても、地域の協力を得て、引き続き取組んで頂きたい。</p> <p>○1人のスクールガードリーダーが市内13小学校を一巡するのに約2週間要すると聞きました。2人では1小学校に週1回となります。人数を増やせないでしょうか。</p> <p>○受付員さんの配備は、ありがたいので続けていただくと共に安全対策もしっかりお願いします。(防犯ブザーの活用など)。</p> <p>スクールガードリーダーも出来れば、増員の方向性をお願いします。(特に下校時は、各校区でばらつきがあると思いますので充実出来ればと思います。)</p> <p>○定期的に、通学路安全点検を行って、児童、生徒、保護者、地域の方からの要望を聞く事も大事だと思う。特に、横断歩道の白線が消えかかっている所を早く修繕するべきだと考える。</p> <p>○本当はこの事業が必要でなくなる世の中にしなければならぬのですが、近年のニュースを見ると、子どもの安全が第一だと考えます。拡充して安心できる街にしなければと考えます。</p> <p>○教育の前にまずは学校は絶対安全でなければならぬ。現状でも最善の策を講じて取り組んでいると思うが、緩めることなく継続して行ってもらいたい。全ての通学路の安全確認を行い、安全対策も今後拡充していくべきと考える。</p> <p>○人材活用をうまくおこない、安全に努めている。今後とも継続されたい。</p> <p>○子ども達や保護者とスクールガードリーダーはうまくやっている。現状維持。</p>	H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、1,311千円(9.0%)の増となっている。これは、スクールガードリーダーを2人から3人に増員することで540千円の増、ボランティア用ベストの作成費用で507千円の増、受付員の単価改定等で委託料が264千円の増となったためである。	15,879	14,568	1,311	13,158

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
12	小学校施設 管理事業	教育総務課	市立小学校(第一小学校、第二小学校、第三小学校、日新小学校、北中小学校、長坂小学校、日根野小学校、大木小学校、上之郷小学校、長南小学校、末広小学校、佐野台小学校、中央小学校)の修繕・各種施設管理委託業務の実施及び学校施設管理上必要な光熱水費、役務費等の支払いを行っている。 市内小学校施設を適正管理し、安全で良好な教育環境維持に努めている。	B	—	<p>○教育条件のうち、学校施設の維持管理は適正に行われる必要があり、さらなる充実を求める。</p> <p>○施設の補修・修繕については積極的に実施していただきたいが、光熱水費節約に対する意識向上を図っていただきたい。</p> <p>○ファシリティ・マネジメントの観点から、計画的に営繕工事を実施し、施設の長寿命化を図っていくべきである。</p> <p>○施設の修繕、改修の必要性のある学校も増えていると考えられます。順次改修して頂きたいと考えます。</p> <p>○年間の推移から適切に使われていると思います。ただし、近年の異常気象や暑さ対策のためには、安全第一で必要なときは現場の判断でよろしくをお願いします。</p> <p>○耐震化は完了しているが、給水設備や配管等の長寿命化やライフサイクルコストの低減化に向け、計画の策定に取り組んでいただきたい。</p> <p>○安全で良好な教育環境を維持して頂きありがとうございます。施設設備の不備による事故は0件という事で、これからも現状維持でお願いしたいと考えます。</p> <p>○小中学校の施設面は飛躍的に向上したことは大いに評価出来ます。耐震化、エアコン、エレベーター、トイレの洋式化等々、学習環境が改善できることはうれしい限りです。長年の課題であった学校毎のプール設置も進んできました。送迎バス等も使うことも無くなりますから水泳事業に使える時間も増えますから子供たちにとってより有意義な授業となることは評価できます。</p> <p>○現状維持。</p>	H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、4,237千円(3.4%)の減となっている。これは、主に13校の電話料で423千円の減、廃棄物手数料で500千円の減、3年ごとの空調フロン検査で1,120千円の皆減、防火設備点検で設計額の見直しにより1,807千円の減となったためです。	121,666	125,903	△ 4,237	118,553

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
13	小学校教育 研究事業	学校教育課	図書館司書を派遣し、図書館の維持管理・充実化を図っている。 小学校英語教育のためALTを派遣委託している。	B	—	<p>○図書館司書の配置についてはさらなる拡充を求める。小学校での英語教育についてはさまざまな意見もあるなかで、慎重な対応を求める。</p> <p>○図書館司書を市の正規職員で配置すべきである。英語の教科化自体に反対である。授業のできる教師の配置なしに、強引に教科化する国の方針はあまりに無責任である。実施に際して、ALTの派遣に偏らず、授業を受け持つ教師の要望をしっかりと聞きつけてほしい。</p> <p>○図書館司書は現行のままでよいと思います。英語教育については児童が親しめる授業内容にしていきたい。ALTの充実を図っていただきたい。</p> <p>○研究を通じた取組みは児童生徒の有意義な授業に直結すると考える。研究実施内容の積極的な公開を行い、成果を共有されたい。</p> <p>○英語教育の充実は、国際都市を目指す上にも必要だと感じていますので、充実していただきたいと思います。また、いろいろな場面で海外の方と交流する機会等も利用していただきたいと思います。</p> <p>○学校図書の適正管理。英語教育の充実は大切なので、引き続き推進をお願いしたいです。</p> <p>○本市には多くの外国人が定住しており、現在行っている英語教育とは別にその方達と交流方法を考えて、生の外国語に慣れる機会を作って行ってもらいたい。</p> <p>○中学校の図書では充実を図っているが、その前提となる小学校で図書に触れるしくみが少ないのでは？小学生の時期には、図書に触れる習慣をまず身につけられるようなしくみを作れないものか。</p> <p>○現状維持。</p>	H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、59千円(25.4%)の増となっている。これは、英語教材DVDの購入枚数が94枚から78枚になったことで39千円の減となった一方、手話通訳謝金で98の皆増となったためである。	291	232	59	697

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
14	中学校施設 管理事業	教育総務課	市立中学校(佐野中学校、新池中学校、第三中学校、日根野中学校、長南中学校)の修繕・各種施設管理委託業務の実施及び学校施設管理上必要な光熱水費、役務費等の支払いを行っている。 市内中学校施設を適正管理し、安全で良好な教育環境維持に努めている。	B	—	<p>○教育条件のうち、学校施設の維持管理は適正に行われる必要があり、さらなる充実を求め。</p> <p>○施設の補修・修繕については積極的に実施していただきたいが、光熱水費節約に対する意識向上を図っていただきたい。</p> <p>○12 小学校施設管理事業に同じ</p> <p>○施設の修繕、改修を順次行って頂きたいと考えます。</p> <p>○年間の推移から適切に使われていると思います。ただし、近年の異常気象や暑さ対策のためには、安全第一で必要なときは現場の判断でよろしくをお願いします。</p> <p>○耐震化は完了しているが、給水設備や配管等の長寿命化やライフサイクルコストの低減化に向け、計画の策定に取り組んでいただきたい。</p> <p>○小学校施設管理事業と同様と考えます。</p> <p>○全ての学校が当てはまるかどうか分からないが、佐野中、新池中の樹木の剪定が不十分を感じる。施設管理上、まずは安全面が第一で続いて教育面となり美観面では後回しになると思うが、定期的な手入れが行われているのか疑問である。施設の老朽化防止の為にも是非順番に取り組んで頂きたい。</p> <p>○現状維持。</p>	H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、3,107千円(5.0%)の増となっている。これは、需用費で699千円の減、電話代や破棄物処理の役務費で424千円の減、空調フロン検査や防火設備検査などの委託料で873千円の減となった一方、佐野中学校と新池中学校のプール運用開始に伴い電気・水道代が4,221千円の増、校具備品が882千円の増となったためである。	65,787	62,680	3,107	60,456

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
15	小学校就学 奨励事業	学校教育課	<p>義務教育の円滑な実施に資することを目的とし、以下の事業を実施している。</p> <p>①市内の小学校に在籍する児童の保護者で、経済状態が生活保護世帯に準ずる程度と認められる世帯に対し、学校で必要な経費(教材費等)の一部を援助する。</p> <p>②市内の小学校の支援学級に入級している児童の保護者で、基準額以下の世帯に対し、学校で必要な経費(教材費等)の一部を援助する。</p>	B	—	<p>○学齢児童が、経済的理由によって就学が困難とならないよう必要な援助を行う事が法令で義務付けられている事業であって、申請世帯の世帯合計所得金額が生活保護基準を基に算出した認定基準以下の保護者に学用品費、給食費等を分けて支給するもので、世帯所得が伸び悩み、低迷する昨今、就学環境は厳しい状況が続いており、義務教育の機会均等、就学の保障を図るうえで、本事業の果たす役割は大きく、今後も継続していく事が重要である。</p> <p>○一部を援助する率を順次(年次的)上げて頂くよう要望を致します。</p> <p>○就学している方に対しては、進んだと思えますので就学前の児童に対して、研究していただき入学前にも充実できるようにしていただきたいと思えます。(中学校との連携は出来ると思えますが、入学前の児童については改善等が必要だと思えますので、よろしく願います。)</p> <p>○入学時期に間に合うように前倒しでの支給を実施して頂きたいです。</p> <p>○経済的理由により教育に支障が出ないよう、現状維持、もしくは拡充をお願いしたいと思います。</p> <p>○現状維持。</p>	H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、11,904千円(19.0%)の増となっている。これは、就学援助補助金の拡充により学用品等の支給対象者が840人から931人と91人増加による5,621千円の増、新入学準備金の導入で5,515千円の増、特別支援教育就学奨励費補助金の支給対象者が226人から243人へ17人増加により750千円の増となったためである。	74,664	62,760	11,904	54,939

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
16	給食事業	教育総務課	<p>①給食調理・配送・回収・洗浄・配膳業務委託の管理 ②小学校での栄養・食指導 ③保護者を対象とした学校給食試食会 ④給食実施月の献立の作成ならびに食物アレルギーに関する情報の提供 ⑤学校給食会の運営</p> <p>望ましい食習慣の形成、児童の発達段階に応じた栄養価の確保、健康の増進、食育の推進及び衛生管理を図り、安心・安全な学校給食の提供を行っている。</p>	B	—	<p>○小学校での安全で安心な給食の提供に努めていただきたいが、栄養教員4名が学校と給食センターを巡回しており、いわば兼務の状況とのこと。センターでの調理業務は委託であり栄養教員が衛生指導などを委託先の職員に行うことは「偽装請負」となることから、委託先との契約内容などについて検証されたい。4名が学校に集中すれば、さらに学校での「食育」を充実できるのではないかと。また、アレルギー児への対応の充実を求める。</p> <p>○作り手の顔が見える「自校調理方式」が理想であるが、センター方式であっても、安全安心はもちろぬ、食育の取り組みもさらに進め、事業を拡充すべきと考える。給食無償化には多額の財源を要するが、義務教育における保護者の経済的負担が大きいので、多子世帯など対象を限定してでも検討することは、少子化対策としても大きな意義がある。</p> <p>○好き嫌いや食べ残しをなくす指導を徹底していただきたい。中学校給食事業との連携を図ること。</p> <p>○学校給食の運営については、民間の力も活用し、事業の効率化を図りながら、安心・安全・教育的な面からも継続が必要である。</p> <p>○食中毒に気をつけて頂き、よりおいしい給食を提供して頂ければと思います。</p> <p>○地産地消の取り組みも、栄養管理の取り組みも適切に出来ていると思います。特に地産地消については大変良い成果だと思います。アレルギー対策や、気候のためか食中毒が全国的にも多くなっていますので、安全対策はしっかり点検見直しが必要な場合など予算も含めて前向きにお願いします。</p> <p>○地産地消またアレルギー対策等色々な面で充実を図って頂いていますが食品ロスの観点から残さず率を減らす努力を検討して頂きたいです。</p> <p>○最近、O157による食中毒の被害者が出ており、感染源が特定できない為、対策が遅れている。よって、多くの児童給食を扱う上で、未然に防ぐ万全の対策を講じるように心がけて欲しい。特に民間委託している業者全ての衛生管理状況を随時報告させる事も必要であると考えます。</p> <p>○食育の推進に力を入れていただきたい。</p> <p>○今の給食事業には満足してはいますが、これからも安心、安全な学校給食をお願いします。ただ、給食の無償化を訴えている私としては、無償化になることを願っています。</p>	<p>H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、1,368千円(0.9%)の増となっている。これは、主にアレルギー対応補助の対象者の減少で168千円の減となったものの、ノロウイルス対策として職員等検便で163千円の増、給食調理等で1,477千円の増となったためである。</p>	150,147	148,779	1,368	148,359

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
						<p>○小学校給食、中学校給食共に言える事ですが相変わらず残菜の量が多いと感じます。好きでない食材を無理やり食べさせることはありませんが学校給食では自校方式と集中方式とが議論されました。以前に視察した自校方式で給食を提供している学校では残菜は極めて少ないとお聞きしました。これは作る方の顔が見え残すことは申し訳ないとの感情が生まれているのではとも聞きました。食育の点からでも調理現場の見学や食材を確保している現場を知ってもらうことで給食に関して感謝の気持ちが生まれてくるのではないのでしょうか。</p> <p>○日本全体で食べ残しが大きな問題となり、給食においても残菜率をまだまだ下げる必要があると感じる。それにはいかに栄養面を考えながら子供たちが好んで食べる食事を提供するかが、是非工夫を凝らしてがんばって頂きたいです。</p> <p>○食育において地産地消の考えは良いと思うが、本来は家庭教育でも行えること。供給側の負担となることなく、需要と供給側の双方に効果的な範囲内で進めていくことで充分だと考えているので、地産地消においては、安定的な供給に限界があるにもかかわらず充分努力されていると思う。</p> <p>○現状維持。</p>					

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
17	給食センター施設管理事業	教育総務課	<p>学校給食センター(S造2階、延べ床面積2408.04㎡、昭和60年竣工、建築価格385,200千円)の施設管理事業として以下の業務を行っている。</p> <p>①厨房設備の維持管理 ②電気設備の維持管理 ③給湯設備の維持管理 ④排水処理施設の維持管理 ⑤その他給食センター施設の維持管理</p> <p>安心・安全な学校給食の提供を行うために、本事業は業務委託による各機器等の年次点検のほか、市の技術職員による普段の機器類の入念な点検等により機器類の機能の維持・管理や機能劣化の防止等を行っている。</p>	B	—	<p>○小学校における給食の安心・安全確保のため学校給食センターの施設管理を充実させたい。</p> <p>○食の安全面には最新の注意を払っていただきたい。</p> <p>○学校給食に関する施設・設備の経費であるため、必要不可欠な事業であると考え。今後、施設・設備の改修及び保守に係る経費については効率的な実施方法を選択し、経費の削減に努められたい。(老朽化は今後避けられず、事業費が増大していく。)</p> <p>○現状維持でお願いしたいと思いますが、設備については老朽化や見直しが必要な場合がありますので、計画的にお願いしたいと思います。また、掃除はしていると思いますが、食中毒が怖いので一度点検などで、大腸菌が貯まりやすい場所などの把握が出来るなら実地していただくとありがたいと思います。</p> <p>○施設の老朽化による「25 中学校給食センター施設管理事業」との集約化も検討すべきである。</p> <p>○小学校の給食センターは30年を経過しており、老朽化を心配する設備もあることから、安心、安全に努めて頂きたいと考えます。</p> <p>○現状維持。</p>	<p>H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、939千円(1.6%)の増となっている。これは、主に光熱水費が742千円の増となったためである。</p>	58,970	58,031	939	55,687

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
18	中学校教育 研究事業	学校教育課	学校へ図書館司書を派遣し、 図書室の維持管理充実化を 図っている。 生徒の国際感覚を養うため英 語指導助手を派遣している。	B	—	<p>○中学校では5名の司書が配置されており、さらなる読書活動の推進を図られたい。</p> <p>○英語教育を通じて、海外に関心を持てる国際色豊かな人材育成を図っていただきたい。</p> <p>○13 小学校教育研究事業に同じ</p> <p>○英語教育の充実は、国際都市を目指す上にも必要だと感じていますので、充実していただきたいと思います。また、いろいろな場面で海外の方と交流する機会等も利用していただきたいと思います。</p> <p>○英語力アップを図る為に、田尻町にある「国際交流センター」の外国人留学生との交流を深めてみてはどうか。机上の勉強以上の収穫があると思う。なぜ、語学が必要か、自分で理解し、意欲的に勉強できるのでは。</p> <p>○小学校教育研究事業と同様と考えます。</p> <p>○貸し出し図書にとどまらず英語教育をおこなうなど積極的姿勢で取り組まれているが、広い進路を開けるよう、英語に偏ることなく幅広い分野での情報が得られるようにも進めていくべきだと考える。</p> <p>○外国人先生2人だが、増員してはどうか。</p>	H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、1,439千円(6.9%)の増となっている。これは、学校行事手話通訳対象者の卒業で謝金が102千円の皆減となった一方、英語指導助手(ALT)の回数増(220→288日)で1,103千円の増、図書館運営で438千円の増となったためである。	22,370	20,931	1,439	19,640

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
19	中学校就学 奨励事業	学校教育課	義務教育の円滑な実施に資 することを目的とし、以下の事 業を実施している。 ①市内中学校に在籍する生 徒の保護者で、経済状態が 生活保護世帯に準ずると認 められる世帯に対し、学校で 必要な教材費等の一部を援助②市内の中学校の支援学 級に入級している児童の保護 者で、基準額以下の世帯に 対し、学校で必要な教材費等 の一部を援助③大木地区の 日根野中学校生徒で、通学 距離及び通学途上の安全上 やむなく路線バスを利用した 場合、経費の一部を補助④ 中学校夜間学級に在籍する 生徒で経済状態が生活保護 世帯に準ずると認められる世 帯に対し就学援助	B	—	○こどもの貧困が社会問題となり、経済的な 格差が児童・生徒の教育に影響を及ぼしては ならないというのは、市民的に理解される基 本的姿勢である。今年度から生活保護基準 の1.4倍までに対象となる世帯収入の基準 を広げたが、さらなる拡充と援助項目・金額の 充実を求める。とりわけ、入学準備金につ いては、小・中学とも3月中の支給を早急に実 現されたい。 ○入学準備金の前年度末支給は喫緊の課題 であり、実施自治体の制度を参考に早期に実 施されたい。またその金額も、国基準に引き 上げられたい。 ○さまざまな理由により就学が困難な家庭へ の手厚い援助の充実を図っていただきたい。 ○15 小学校就学奨励事業に同じ ○一部援助する率を順次(年次的)上げて頂 くよう要望を致します。 ○就学している方に対しては、進んだと思 いますので就学前の児童に対して、研究して いただき入学前にも充実できるようにして いただきたいと思ひます。大木地区の中 学生に対してのスクールバスについても今 後検討できたらお願いします。 ○入学時期に間に合うように前倒しでの 支給を実施して頂きたいです。 ○小学校就学奨励事業と同様と考えます。 ○小学校の就学援助に比べて援助費の申 請者数と認定者数がかなり乖離している。 申請の段階で、認定要件の承知不足が 原因ではないのか疑問点が残る。効率的 な事務を行って努められたい。 ○現状維持。	H30当初予算額とH29当初予 算額を比べると、2,670千円 (5.2%)の減となっている。 これは、主に就学援助補助金 の拡充をしたものの、支給対 象者が500人から474人と26 人減少により2,682千円の減 となったためである。	48,774	51,444	△ 2,670	44,271

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
20	中学校教育 振興事業	学校教育課	中学校のクラブ活動などの課外活動の支援および校外での体験活動を行うことで、生徒間の交流を図り、併せて人間性や社会性を育てている。	B	—	<p>○中学校の課外クラブ活動への道具代などの補助をする事業であるが、各学校長への「委託」事業としていることには違和感を覚える。課外とはいえ、教育の一環であるクラブ活動であり、教員指導していることから「委託」はなじまない。クラブ活動支援の「補助」事業とし、実態に合わせて増額することを求める。</p> <p>○クラブ活動を通じての人間性育成は大切だが、教職員の負担大とならないように注意を払っていただきたい。</p> <p>○部活動は教育課程外の活動であるものの、学校教育活動の一環として、中学校教育において大きな意義や役割を果たしており、必要な事業と考える。生徒の部活動への積極的な参加や専門的な指導が実施される事により、保護者からの安心感にもつながっている。</p> <p>○子ども議会でも、増やして欲しいとの声がありましたので充実していただきたいと思いますが、先生の労働環境の改善と合わせて考えていく必要があると思います。経験の有る先生などがいれば、増やすことも考えていただきたいと思います。</p> <p>○課外クラブが充実する事は素晴らしいと考えます。</p> <p>○クラブ活動に関しては外部指導者を招へいするなど先生方の負担の軽減やより踏み込んだ活動も出来ているようですが大阪市では多くの予算付けをして専門知識を持った指導者を招へいしているという事例もあります。子供たちからもクラブの選択肢を増やしてより多くの生徒がクラブ活動出来るようにとの要望もありもう一步踏み込んだ外部委託も考えて欲しい。</p> <p>○各学校一律では無く、次年度の予算配分のために何がどれくらい必要なかをきめ細やかに聞き、現状を確認の上、バランスを取りながら執行していく様な方法を考えて頂きたい。</p> <p>○クラブ活動の充実を図りながら先生の負担軽減を図る為にクラブの講師の委託を進めてはどうか。</p>	H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、5,392千円(166.8%)の増となっている。これは、中学校課外クラブの外部委託の試験的導入によるものである。	8,624	3,232	5,392	1,666

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
21	教育委員会 運営事業	教育総務課	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」及び「泉佐野市教育委員会会議規則」の規定により、「泉佐野市教育委員会の事務委任規則等に関する規則」の規定に基づく事項について審議を行っている。また、教育委員が学校訪問し、学校での児童・生徒の様子や学校の施設整備等、現状と問題点を把握し、学校経営・教育活動の改善を図っている。	B	—	<p>○法改正により地方教育行政における責任の明確化や市長との連携強化がうたわれているとはいえ、教育の中立性・継続性・安定性が教育行政の根幹である。「政治」が過度に介入しない運営を求める。先の子ども議会でも、12校中4校から「土曜事業」について疑問の声が出された。予想された様々な問題について、教員の意見が十分聞かれぬまま実施された結果が、子どもたち自身からの疑問の声につながっている。早急に検証し、実施の是非も含め再検討すべきである。</p> <p>○議事録の公開をさらに早期に実施できるよう工夫するなど、さらに市民に開かれた委員会、市民の意見を反映できる委員会であってほしい。義務教育を全市民の課題と認識できるように情報発信に努めていただきたい。</p> <p>○引き続き教育委員との密なる連携に努めていただきたい。</p> <p>○地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき設置が義務付けられる事からも、引き続き教育委員会の円滑な運営を求めたい。</p> <p>○現状維持をお願いします。様々な教育課題がありますので、大変な場合もあるとは思いますが、よろしく願いいたします。</p> <p>○現状維持をお願いします。</p> <p>○教育委員会の皆様が教育委員会議で全て感じていること、考えていることが伝わっているのかは疑問を持つ。学校教育課が頻繁にコミュニケーションを密にし、時には議会とも意見交換会を持つことも必要なのではないかと考える。</p> <p>○教育委員が6名と聞いたが、本市の学校数の規模からして少なくないか。学校を訪問して現場も把握されるなど、尽力されているが現在の人数で負担はないのか。また、教育の基本方針など重要な事柄を決めたりする会議の場で多様な意見を取り入れるためにも、もう少し人数がいてもいいのではと感じる。</p>	H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、84千円(1.5%)の増となっている。これは、新たに教育委員先進都市視察費用を72千円計上したためである。	5,531	5,447	84	5,361

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
22	泉佐野まなびんぐサポート事業	学校教育課	子どもの学びの状況等に応じたきめ細やかな指導や支援を行う事により、子ども一人ひとりの学力や学習意欲の向上を図ることを目的とし、各学校の取組みに対して支援を行っている。	A	—	<p>○「子ども一人ひとりの学習意欲の向上を図る」との事業の目的には賛同するが、単に学力向上にとどまらない子どもの人格形成に資する内容での取り組みを求める。同時に、児童・生徒の負担とならない時間数とされたい。</p> <p>○こども議会でも要望があったように、夏・冬休み期間中での実施を検討していただきたい。</p> <p>○本事業においては、再度補助金の活用が検討できないか調査する余地があり、効率性については見直し有りと考えます。</p> <p>○評価します。</p> <p>○充実していただきたい事業です。先生方の長時間労働が問題視されている中、うまく活用していただき問題解決につながるといいと思う事業です。</p> <p>○先日開催されたこども議会において中学校の生徒より希望がありました。長期休暇中の学びんぐサポート事業の実施も検討して頂きたい。</p> <p>○この事業を通じて、「学ぶ環境」、「考える環境」に触れさせる事が大事だと思う。</p> <p>○所得格差による教育格差の改善に効果的だと考えるため、拡充していただきたい。</p> <p>○塾に通う事の出来ない生徒に対しては大変ありがたい事業で、地域のボランティアの方々の協力に感謝しています。予算をつけて拡大の方向で考えていきたいです。</p> <p>○学習面でも少人数学級の実現やまなびんぐサポート事業等きめ細やかな対応も評価できます。</p> <p>○学力向上策には多くの方法があると思うが、第一の方法としては大変重要な事業だと感じる。登録する子供たちは出来る限り増やし、有償ボランティアの人数も増員の方向で取組んで行ってもらいたい。</p> <p>○週1回、月4回でカバー出来るか。少し人員をふやしては。</p>	H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、167千円(1.1%)の減となっている。これは、WEB動画学習システム運営業務委託料で76千円の増、SANOリンクの会場借上料で78千円の増となった一方、文化芸術による子供の育成事業委託料で19千円の減、スポーツ交流児童派遣業務委託料で288千円の減となったためである。	15,088	15,255	△ 167	10,301

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
23	泉佐野市の 未来を創る 教育事業	学校教育課	子どもの未来を育む教育の 推進につながる事業に対して 補助、及び学力向上アドバイ ザーによる学力向上支援によ り、学校園、家庭、地域社会 が連携して、子どもの未来を 育む教育の推進につながる 取組みを支援している。	A	—	<p>○防災地域訪問の学習効果について、明らかにされたい。学校ごとの教育事業補助金は上限があり、金額の増額が必要ではないか。</p> <p>○学校行事業に含まれない各学校独自の活動について、財源措置を含めて、希望に沿った取り組みができるよう拡充すべきである。ジュニア防災士検定は、学校現場の負担になっていないか、教師の意見を聞いて、場合によっては中止すべきである。</p> <p>○地域との連携を通じて、防災に対する意識向上を図っていただきたい。</p> <p>○教育に関しては、いろいろな課題があると共に先生の世代交代が急激に進んでいると感じますので、いろいろなサポートが大切だと思いますので、充実できるようにお願いします。(家庭における問題が、影響することが大きいと感じているので、そのことを考えての対策があればいいと思います。)</p> <p>○「子ども達は未来の宝」である。さまざまな体験、交流等を通じて、大きく成長できるよう持続して欲しい。</p> <p>○防災教育や災害意識の向上は、自分の身を守る上でも重要であり、被災地との交流等は非常に意味があると考え。より多くの児童、生徒と共有していただきたい。</p> <p>○学力向上プロジェクトチームの取り組みを強化し、予算拡充を図り、成果を市内全教員に拡げていただき、学力の向上に取り組んでいただきたい。</p> <p>○学校、家庭、地域が連携して防災意識の向上、地域の交流が図れる事は大切だと考えます。</p> <p>○被災地の視察や友好都市、協定締結市への訪問も重要だが、学校独自の年度</p>	H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、2,212千円(12.1%)の増となっている。これは、主に友好都市体験学習事業の実施により、旅費が116千円の増、消耗品が22千円の増、役務費が20千円の増、委託料が2,102千円の増となったためである。	20,482	18,270	2,212	11,576

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
						<p>取り組みをもっと充実させるべきであると感じる。そのための予算は拡充すべきでその成果もきちっと検証すべきである。</p> <p>○補助金の交付事業かと思うが、それが適正であるのかないのか、評価シート上では、事業の中身がよくわからない。</p> <p>○学力向上アドバイザー2人は少ない。</p> <p>被災地訪問・交流事業は現状維持。</p>					

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
24	中学校給食事業	教育総務課	<p>①給食調理・配送・回収・洗浄・配膳業務委託の管理 ②中学校での栄養・食指導 ③保護者を対象とした学校給食試食会 ④給食実施月の献立作成ならびに食物アレルギーに関する情報の提供 ⑤学校給食会の運営</p> <p>望ましい食習慣の形成、生徒の成長期に応じた栄養価の確保、健康の増進、食育の推進及び衛生管理を図り、安心・安全な中学校給食の提供を行っている。</p>	B	—	<p>○中学校での安全で安心な給食の提供に努めていただきたいが、栄養教員4名が学校と給食センターを巡回しており、いわば兼務の状況とのこと。センターでの調理業務は委託であり栄養教員が衛生指導などを委託先の職員に行うことは「偽装請負」となることから、委託先との契約内容などについて検証されたい。4名が学校に集中すれば、さらに学校での「食育」を充実できるのではないかと。また、アレルギーがある生徒への対応の充実を求める。</p> <p>○好き嫌いや食べ残しをなくす指導を徹底していただきたい。</p> <p>○16 給食事業に同じ</p> <p>○食中毒により一層気をつけて頂き、よりおいしい給食を提供して頂きたいと思えます。</p> <p>○地産地消の取り組みも、栄養管理の取り組みも適切に出来ていると思えます。特に地産地消については大変良い成果だと思えます。アレルギー対策や、気候のためか食中毒が全国的にも多くなっていますので、安全対策はしっかり点検見直しが必要な場合など予算も含めて前向きにお願いします。</p> <p>○地産地消またアレルギー対策等色々な面で充実を図って頂いていますが食品ロスの観点から残さい率を減らす努力を検討して頂きたいです。</p> <p>○「16 給食事業」と同じ。</p> <p>○小学校給食事業と同様と考えます。</p> <p>○府内自治体の中でも、早期に開始されたことには敬意を表する。</p> <p>この事業のおかげで多くの家庭では朝早くからお弁当をつくる手間が省け、喜んで頂いていると思う。また、栄養面でもバランスの取れた昼食をとる事が出来ていると思う。</p> <p>○16の給食事業に同じ。</p> <p>○現状維持。</p>	<p>H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、1,502千円(1.3%)の増となっている。これは、職員等検診の対象者の2名増加で14千円の増、ノロウイルス対策で職員等検診が173千円の増、給食調理等が1,050千円の増となったほか、消耗品で60千円の増、備品購入費で206千円の増となったためである。</p>	118,785	117,283	1,502	117,483

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H30年度 当初予算額	H29年度 当初予算額	増減額 (H30-H29)	備考 (H28年度 決算額)
25	中学校給食センター施設管理事業	教育総務課	<p>中学校給食センター(S造2階、延べ床面積2379.46㎡、平成27年2月竣工、建設費842,627千円)の施設管理事業として以下の業務を行っている。</p> <p>①厨房設備の維持管理 ②電気設備の維持管理 ③給湯設備の維持管理 ④排水処理施設の維持管理 ⑤その他、中学校給食センター施設の維持管理</p> <p>安心・安全な中学校給食の提供を行うために、本事業は業務委託による各設備・機器等の年次点検のほか、市職員による普段の機器・設備点検等により機器類等の機能劣化の防止等を図っている。</p>	B	-	<p>○中学校における給食の安心・安全確保のため学校給食センターの施設管理を充実させたい。</p> <p>○0-157などの食中毒には最新の注意を払っていただき、食の安全の徹底を引き続き実施していただきたい。</p> <p>○17 給食センター施設管理事業に同じ</p> <p>○現状維持でお願いしたいと思います。設備については老朽化や見直しが必要な場合があると思いますので、計画的にお願いしたいと思います。また、掃除はしていると思いますが、食中毒が怖いので一度点検などで、大腸菌が貯まりやすい場所などの把握が出来るなら実地していただくとありがたいと思います。(小学校と違い施設が新しいので、将来的に考えればいいと思います。)</p> <p>○「17 給食センター施設管理事業」との施設集約化を今後検討する必要があると考える。</p> <p>○小学校とは違い施設はまだまだ新しいので心配はいらないと考えますが、保守点検をおこたらず事業の現状維持をして頂きたいと考えます。</p>	<p>H30当初予算額とH29当初予算額を比べると、1,559千円(4.3%)の増となっている。これは、調理器具補償終了に伴い修繕料で478千円の増、厨房機器保守点検委託料で1,082千円の増となったためである。</p>	37,654	36,095	1,559	36,970
合 計								992,716	956,164	36,552	894,516